イ．最大加重消費電力

最大加重消費電力（W）＝0.28×（P_{MAX}＋N_{HDD}×５）＋8.76×P_{EEE}×0.65

P_{MAX}　：最大消費電力測定値（単位：W）

N_{HDD}　：ＨＤＤ（ハードディスクドライブ）又はＳＳＤ（半導体ドライブ）の搭載数

P_{EEE}　：ＩＥＥＥ802.3az準拠型（節電型イーサネット）ギガビットイーサネットポートごとに適用する許容値0.2W／ギガビット

9　シンクライアントに係る最大年間消費電力量の算定方法は、次式による。

E_{TMAX}＝TEC_{BASE}＋TEC_{GR}＋TEC_{WOL}＋TEC_{DIS}＋TEC_{EEE}

E_{TMAX}　：最大年間消費電力量（単位：kWh／年）

TEC_{BASE}：基本許容値60W

TEC_{GR}　：独立型グラフィックス許容値36W

TEC_{WOL}　：ウェイクオンラン（ＷＯＬ）許容値２W

TEC_{DIS}　：表３－５に規定する一体型デスクトップコンピュータに対する一体型ディスプレイ許容値（単位：kWh）

TEC_{EEE}　：表３－５に規定するＩＥＥＥ802.3az準拠型（節電型イーサネット）ギガビットイーサネットポートごとに適用する追加許容値（単位：kWh／ギガビット）

ただし、TEC_{GR}、TEC_{WOL}、TEC_{DIS}及びTEC_{EEE}の許容値の加算については、出荷時に初期設定で有効にされている場合に限る。

10　特定の化学物質とは、鉛及びその化合物、水銀及びその化合物、カドミウム及びその化合物、六価クロム化合物、ポリブロモビフェニル並びにポリブロモジフェニルエーテルをいう。

11　判断の基準③については、パーソナルコンピュータに適用することとし、特定の化学物質の含有率基準値は、ＪＩＳ　Ｃ　0950：2008（電気・電子機器の特定の化学物質の含有表示方法）の附属書Ａの表Ａ．１（特定の化学物質、化学物質記号、算出対象物質及び含有率基準値）に定める基準値とし、基準値を超える含有が許容される項目については、上記ＪＩＳの付属書Ｂに準ずるものとする。なお、その他付属品等の扱いについてはＪＩＳ　Ｃ　0950：2008に準ずるものとする。

12　「一般行政事務用ノートパソコン」とは、クライアント型電子計算機のうち電池駆動型のものであって、通常の行政事務の用に供するもの（携帯を行う場合や一般行政事務以外の用途に使用されるものは除く。）をいう。

13　「搭載機器・機能の簡素化」とは、次の要件を満たすことをいう。なお、赤外線通信ポート、シリアルポート、パラレルポート、ＰＣカード、Ｓ－ビデオ端子等のインターフェイスは、装備されていないことが望ましい。

ア．内蔵モデム、ＣＤ／ＤＶＤ、ＢＤ等は、標準搭載されていないこととし、調達時に選択又は外部接続可能であること。

イ．周辺機器を接続するためのＵＳＢインターフェイスを複数備えていること。

14　一般行政事務用ノートパソコンの二次電池（バッテリ）に必要な駆動時間とは、停電等の緊急時において、コンピュータを終了させ、電源を遮断する（シャットダウン）ための時間が確保されていることをいう。

15　「再生プラスチック」とは、製品として使用された後に廃棄されたプラスチック及び製造工程の廃棄ルートから発生するプラスチック端材又は不良品を再生利用したものをいう（ただし、原料として同一工程内で再生利用されるものは除く。）。

16　「環境負荷低減効果が確認されたもの」とは、製品のライフサイクル全般にわたる環境負荷についてトレードオフを含め定量的、客観的かつ科学的に分析・評価し、第三者のＬＣＡ専門家等により環境負荷低減効果が確認されたものをいう。

17　植物を原料とするプラスチックを使用する場合にあっては、次の事項が担保されていること。

ア．環境負荷低減効果に係る情報が開示・公表されていること。

イ．使用済製品の回収及びリサイクルのシステムがあること。

ウ．リサイクルの阻害要因とならないよう、植物を原料とするプラスチックの使用部位に関する情報開示がなされていること。

18　調達を行う各機関は、次の事項に十分留意すること。

ア．化学物質の適正な管理のため、物品の調達時に確認した特定の化学物質の含有情報を、当該物品を廃棄するまで管理・保管すること。

イ．調達に当たって、使用目的・業務内容を十分勘案し、必要な機器・機能のみを要件とすること。

ウ．マニュアルやリカバリＣＤ等の付属品については必要最小限とするようなライセンス契約の方法を検討すること。

表１　サーバ型電子計算機に係る基準エネルギー消費効率

区分			基準エネルギー消費効率
ＣＰＵの種別	Ｉ／Ｏスロット数	ＣＰＵソケット数	
専用ＣＩＳＣ	32未満		1,950
	32以上		2,620
ＲＩＳＣ	８未満		13
	８以上40未満		31
	40以上		140
ＩＡ64	10未満		6.2
	10以上		22
ＩＡ32	0		1.3
	１以上７未満	２未満	1.2
		２以上４未満	1.9
		４以上	6.7
	７以上		7.4

備考）１　「専用ＣＩＳＣ」とは、ビット数の異なる複数の命令を実行できるように設計されたＣＰＵのうち、電子計算機毎に専用に設計されたものをいう。

２　「ＲＩＳＣ」とは、ビット数の異なる複数の命令を実行できるように設計されたＣＰＵ以外のＣＰＵをいう。

３　「ＩＡ64」とは、ビット数の異なる複数の命令を実行できるように設計されたＣＰＵのうち、専用ＣＩＳＣ以外のものであって、64ビットアーキテクテャのものをいう。

４　「ＩＡ32」とは、ビット数の異なる複数の命令を実行できるように設計されたＣＰＵのうち、専用ＣＩＳＣ以外のものであって、32ビットアーキテクテャのものをいう。

５　エネルギー消費効率の算定法については、エネルギーの使用の合理化等に関する法律に基づく経済産業省告示第74号（平成22年３月31日）の「３エネルギー消費効率の測定方法⑵」による。以下表２において同じ。